

コーセー、福島・東北の復興を応援
鶴ヶ城 プロジェクションマッピングはるか 2014
「庄助の春こい絵巻」に協賛

株式会社コーセー(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林 一俊)は、東日本大震災の被災地への復興支援の一環として参加している「fukushima さくらプロジェクト」の取り組みとして、2014年3月15日(土)から23日(日)まで福島県会津若松市で開催される『鶴ヶ城プロジェクションマッピングはるか 2014「庄助の春こい絵巻」』に協賛し、本プロジェクトを盛り上げていきます。

「fukushima さくらプロジェクト」とは、多くの企業の参加により、福島発の新種の桜を、全国各地に届けることなどを通じて、福島・東北を応援する機運を醸成する広報活動を目的に、2013年にスタートしたプロジェクトです。原発被害の影響が長期化している中で、福島・東北を継続して支援するため、そして子供達が安心して暮らせる未来のために、それぞれの参加企業が、この新種の桜をシンボルにして、様々な方法で多くの人々に伝え、行動を促すきっかけを与えていきます。



今回の『鶴ヶ城 プロジェクションマッピングはるか 2014「庄助の春こい絵巻」』では、昨年3月に鶴ヶ城で開催し、好評を博した上映内容に新作を加え、さらに多くの方に福島を訪れていただけるよう期間、規模を拡大して開催されます。影絵作家の藤城清治氏が今回のために書き下ろした地元ゆかりのキャラクターたちが、音楽家の大友良英とSachiko Mの両氏によるオリジナル楽曲に乗せて踊り出し、森の精霊たちと共に春を招くという、会津若松の伝統文化とトップクリエイターの共演による新たなプロジェクションマッピングとなっています。

また同時に、特別企画として「夢の春」デザインコンテストを実施します。福島県の小学6年生から鶴ヶ城プロジェクションマッピングのデザインを募集し、選考された一部の案をイベント開場時に実際のお城へ投影します。

当社では、化粧品メーカーであることを活かし、被災地支援活動の一環として、昨年より本プロジェクトに参加しました。今後も、引き続きさまざまな取り組みを通じ、福島・東北に本当の笑顔が戻るまで、長期的に応援していきます。

※ コーセー東日本大震災の被災地支援活動について URL: <http://www.kose.co.jp/jp/ja/info.html>

<参考資料>

■ 鶴ヶ城 プロジェクションマッピング はるか 2014「庄助の春こい絵巻」実施概要

日時:2014年3月15日(土)、16日(日)、19日(水)、20日(木)、21日(金・祝)、22日(土)、23日(日)

各日4回開催 ①18:30～ ②19:15～ ③20:00～ ④20:45～

内容:2013年版と2014年版の2本同時上映

会場:鶴ヶ城 福島県会津若松追手町1-1 ※完全事前申込制

主催:fukushima さくらプロジェクト

共催:会津若松市

後援:福島県、会津若松市「八重の桜」プロジェクト協議会

協賛:NEC、NTTファイナンス、コーセー、サン・クロレア、住友林業、東芝、

日本経済新聞社、日立製作所、日本ゼットック、福島民報社、三井不動産、LIXIL、

協力:会津若松商工会議所、会津若松観光物産協会、一般財団法人会津若松市観光公社

同志社大学、NHK エンタープライズ

公式HP: <http://fukushimasakura.jp/tsurugajo/>

■ 新作の内容

「春よ早く来いー。」

会津の伝説のヒーロー^{おほらしょうすけ}小原庄助(※注1)さんが鶴ヶ城に春を呼びにやってきました！精霊たちが奏でる笛や太鼓。少しお酒の入った庄助さんは上機嫌に。つられて森のいきものたちもやってきて宴の輪はどんどん広がります。彼岸獅子やおきあがりこぼしも仲間に加わって飲めや唄えの大騒ぎ。すると、楽しい空気に誘われて桜のつぼみがちらほらと咲きはじめました・・・復興への想いを込めた桜「はるか」と共に春を祝うにぎやかな物語がはじまります。

※注1 小原庄助さんは福島県会津(あいづ)地方の民謡「会津磐梯(ばんだい)山」に登場する人物。朝寝朝酒朝湯が大好きで身上をつぶたとされるが、温厚で明るい性格で誰からも愛されたと言い伝えられている。

■ 「fukushima さくらプロジェクト」においてのこれまでの当社の取り組みについて

【第一弾 鶴ヶ城プロジェクションマッピング】

URL: http://www.kose.co.jp/jp/ja/ir/common_ir/pdf/news/20130308.pdf

2013年3月9、10日に開催された「鶴ヶ城プロジェクションマッピング」に協賛しました。福島県会津若松市の象徴たる「鶴ヶ城」の城壁に、現在は苗木である新種のさくらが、10年後に大輪の花を咲かせる様子をイメージした感動的な映像が投影され、多くの人々に“未来”へ向けた強いメッセージが発信されました。

【第二弾 エスプリーク】URL: http://www.kose.co.jp/jp/ja/ir/common_ir/pdf/news/20130813.pdf

【第三弾 コスメデコルテ】URL: http://www.kose.co.jp/jp/ja/ir/common_ir/pdf/news/20131030.pdf

【第四弾 エスプリーク】URL: http://www.kose.co.jp/jp/ja/ir/common_ir/pdf/news/20140116.pdf

第二弾以降は、当社の代表的なブランド『エスプリーク』・『コスメデコルテ』を通じて、福島・東北を応援しています。対象商品の売上の一部を、新種のさくらの増殖費用に寄付するキャンペーンを行っています。http://www.kose.co.jp/jp/ja/campaign/sakura_project/